

テーマ

EXPO'70 大阪万博の アヴァンギャルド映画

適用 分野

日本近代文学・映像学・社会学・美術史・メディア論



研究 名称

戦後前衛芸術研究・文学と映画の横断的研究

氏名 所属

友田義行 教授
文学部 日本語日本文学科

内容

第二次世界大戦後のアヴァンギャルド（前衛）芸術運動を担った作家・安部公房と、彼の小説を映画化した勅使河原宏のコラボレーションについて研究しています。

安部公房と勅使河原宏は映画『砂の女』の原作者・監督として知られています。1960年代には黒澤明らと並ぶ国際的知名度を得ていましたが、戦後前衛芸術運動の終焉とともにコンビを解散してしまいました。安部公房研究は現在も盛んに行われていますが、勅使河原宏については不当にも十分に研究が深められていません。

私は二人のコラボレーションを、文学・映画のジャンルを横断して研究しています。成果の一部は単著『戦後前衛映画と文学—安部公房×勅使河原宏』（人文書院）にまとめ、2012年に日本比較文学会賞を受賞しました。

本研究は勅使河原宏が本拠地とした草月会（現：一般財団法人草月会）から長年にわたる協力を得て進めてきました。そして調査の過程で、1970年に大阪万博で上映されたきり、一般には所在が知られてい

なかった映画フィルムに出会いました。安部公房脚本、勅使河原宏監督の4面スクリーン実験映画『1日240時間』です。草月会や元勅使河原プロダクションの方々から協力を得て、デジタル復元を実現することができました。

大阪万博では数々の映像作品が展示されていましたが、現在も所在が確認されているものはほとんどありません。安部公房・勅使河原宏の映画としても、大阪万博上映作としても、貴重な作品であり、歴史的な資料と言えるでしょう。スクリーンとプロジェクターのある会場をご用意いただければ、『1日240時間』のデジタル上映と解説を行うことができます（ただし、草月会への申請が必要です）。2025年の大阪万博の前に、1970年の大阪万博の映像作品を鑑賞してみるのはいかがでしょうか。

なお、本作以外の万博上映作や、万博と文学者・映像作家の関わりについても調査・研究を進めたいと考えています。

研究室URL：

https://researchers.adm.konan-u.ac.jp/html/100000994_ja.html

<https://researchmap.jp/tomoda-yoshiyuki>

キーワード

前衛芸術運動・アヴァンギャルド・実験映画・マルチスクリーン

連携方法

■ 講演 □ 研修 □ 研究相談 ■ 学術調査 □ コメント ■ 共同研究